

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立大原中学校

校訓『歴史を拓く』

くよき歴史と伝統を継承し、自らの力で新しい歴史を拓く
 学校教育目標 ○はつらつとした生徒 ○地域に輝く学校
 希望の登校 笑顔の活動 満足の下校



■所在地：さいたま市浦和区大原 3-1-1 ■電話：048-831-5397
 ■FAX：048-835-1357 ■交通：JR 京浜東北線さいたま新都心・与野駅東口徒歩 20分

01 主権者教育の視点からの生徒の主体的な取組の推進

「生徒たちの、生徒たちによる、生徒たちのための学校」という意識を高める教育の取組



本校は、各教科や学級活動での伝え合い活動の充実を図り、生徒自らが集団や社会の形成者として主体的に社会参画する力を育むことを目標にしています。教科横断的に伝え合い活動を充実させることで、課題解決に向けて物事を多面的・多角的に考察し、協働的に追究し、合意形成する経験を積むことができます。生徒会活動、学校行事、部活動などの様々な場面で生徒が自発的に考え、議論し、課題解決に向けた行動に繋がっていきます。代表生徒による大原前進プロジェクトが発足し、生徒一人ひとりの学校参画意識を醸成して、生徒たちによる持続可能な学校創りを推進しています。



02 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

すべての教科等の授業における伝え合い活動、ICTの活用の推進



本校は、予測困難な時代を迎える子どもたちに必要な3つのG（「自分を伸ばす力（Growth）」・「多様性を受け入れ協働する力（Global）」・「やり抜く力（Grit）」）を育み、主体的に進路選択することのできる生徒の育成を目指しています。効率的な双方向のコミュニケーションツールとしてICTの活用や、プレゼンテーションの力を伸ばす方策の研究など、お互いの授業を参観して教職員が一丸となって授業改善に取り組んでいます。授業の中で生徒一人ひとりがタブレット端末を活用して、調べる・交流する・まとめる・発表する場面で役立てています。



03 開かれた学校づくりの推進

地域・保護者と行うボランティア活動の推進



本校は、見沼たんぼの西縁に位置し、自然豊かな環境です。すぐ近くを走る首都高の高架下には、ピオトープが整備されており、自然再生プロジェクト『ハンノキ・プロジェクト』に緑化委員が参加をしています。また、足立神社の落ち葉掃きボランティア、年2回の除草活動にはPTA・保護者の方々や部活動単位で多くの生徒が参加をしています。そして、地域のスポーツ施設や障害者交流施設とも連携を取った活動をしています。大原前進プロジェクトでは、「自分たちには何が必要で、何ができるのか」を考え、議論し、具体的な行動へと移し始めています。

